

# 市民学術講演会

# 巨大地震のナゾを解く

## 東北大地震と東海地震

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震で明らかになってきた知見、それをどのように東海・東南海・南海地震などの予測に反映させるか、また岐阜県への影響について、出来るだけわかりやすくお話しいたします。



講師 **山岡 耕春** 名古屋大学地震火山・防災研究センター長・教授  
YAMAOKA KOSHUN

1958年 静岡県生まれ  
1977年 岐阜県立大垣東高等学校卒業  
1986年 名古屋大学大学院理学研究科博士課程修了(理学博士)  
1986年4月 東京大学地震研究所助手  
1991年1月 名古屋大学理学部助教授  
2003年4月 名古屋大学環境学研究科教授  
2004年3月 東京大学地震研究所教授  
2007年4月 名古屋大学環境学研究科教授  
2008年4月より 名古屋大学環境学研究科附属地震火山・防災研究センター長

### 現在

文部科学省科学官、地震予知連絡会委員、原子力安全委員会 耐震安全性評価特別委員会委員など  
主な著書に、地震予知の科学(共著)、Q&A日本は沈む、地震・津波と火山の事典(共著)など

2011

11/29 火

18:30~20:00 (開場 18:00)

**入場無料**

定員 140名 (先着順)

土岐市産業文化振興センター セラトピア土岐

(土岐市土岐津町高山4番地)

【お問い合わせ】 自然科学研究機構 核融合科学研究所 大学院連携係

〒509-5292 土岐市下石町322-6 TEL.0572-58-2843 FAX.572-58-2603

<http://www.nifs.ac.jp/>

主催：大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 核融合科学研究所

後援：文部科学省／岐阜県／岐阜県教育委員会／土岐市／土岐市教育委員会／社団法人プラズマ・核融合学会／核融合科学研究会／中部ESD拠点協議会



# 巨大地震のナゾを解く

## 東北大地震と東海地震

3・11東北地方太平洋沖地震  
明らかになる知見  
そして、  
東海・東南海・南海地震の予測へ

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震は、地震学者にとっても予想していない地震でした。しかし、日本列島に高密度で配置された地震計やGPS観測網、さらに最近急速に発展した海底地殻変動や津波観測システムにより発生した地震の姿が明らかになりました。

今回の地震では、プレート境界のすべりが日本海溝にまで達し、東北地方の下に沈み込むプレートと陸側のプレートとの間で発生する地震としては最大級のものになったことです。また地震の前にわかっていた科学的知見をきちんと防災に活かしていれば、3月11日に発生した津波をかなりの程度ハザードマップに反映させることが出来ていたこともわかってきました。一方、地震の前にも貞観地震による津波の調査や、南海トラフの研究でプレート境界における地震発生のしくみがかなり明らかになってきていたのですが、その知見を東北地方太平洋沖の地震による被害想定に反映出来なかったことは大変残念なことです。

講演では、今回の地震で明らかになってきた知見、それをどのように東海・東南海・南海地震などの予測に反映させるか、また岐阜県への影響について、出来るだけわかりやすくお話しいたします。

### 講師

名古屋大学  
地震火山・防災研究センター長 教授

山岡耕春 YAMAOKA KOSHUN



### PROFILE

1958年	静岡県生まれ
1977年	岐阜県立大垣東校等学校卒業
1986年	名古屋大学大学院理学研究科博士課程修了 (理学博士)
1986年4月	東京大学地震研究所助手
1991年1月	名古屋大学理学部助教授
2003年4月	名古屋大学環境学研究科教授
2004年3月	東京大学地震研究所教授
2007年4月	名古屋大学環境学研究科教授
2008年4月より	名古屋大学環境学研究科附属地震火山・ 防災研究センター長

現在

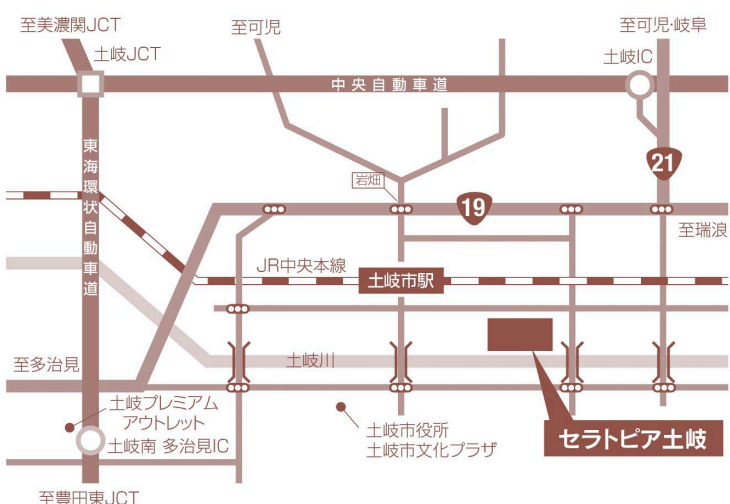
文部科学省科学官、地震予知連絡会委員

原子力安全委員会 耐震安全性評価特別委員会委員など

### [主な著書]

- 地震予知の科学(共著)
- Q&A日本は沈む
- 地震・津波と火山の事典(共著) など

### [会場案内図] 土岐市産業文化振興センター セラトピア土岐 (土岐市土岐津町高山4番地)



[お問い合わせ]

自然科学研究機構 核融合科学研究所 大学院連携係

〒509-5292 土岐市下石町322-6

TEL.0572-58-2843 FAX.0572-58-2603

<http://www.nifs.ac.jp/>